

㈱拓友商事陸運 様

◆前橋支部の㈱横堀商事運輸・横堀孝夫社長とは同年で兄弟の様な関係。高校卒業後、㈱太陽運輸に入社し先代社長に色々教えられたという横堀社長。平成9年会社設立時はホームセンター等で扱われるエクステリアの石材関係を輸送した。



㈱拓友商事陸運
(横堀 薫 社長)
玉村町上福嶋(群南(営))
エクステリア、自動車部品、肥料等を東日本、愛知方面に輸送。

若い頃ダンプを横転させたことがある

◆いずこの社長様(創業者)も若い頃は少なからず無茶をしたことと思うが、横堀社長は㈱太陽運輸を退社後、大量輸送をやりたいと大型トレーラーダンプで山の軽石などを運んだ。その軽石輸送と同時に山の残土を大型ダンプで運んでいた。
◆3年経った頃、輸送先の現場で土砂を落とそうと荷台を上げたが滑り落ちてこない。赤土が粘土のように荷台に張り付いたのだ。更に荷台を上げていくと次の瞬間ダンプが倒れた。幸いけが人は出なかったが死ぬ思いだった。これ以降無茶はしなくなった、とのこと。

“トラック好き”で入ってきたドライバーに“これでどうだ”という車に乗せてやりたい

◆同業者から「車に金を掛けても運賃は変わらない」と言われる、と社長が切り出した。◆当社ではボデー屋でボデーを1から作る。縦・横のネタを強化し2トンの石材を積んでも荷台はたわまない。★決して目立つつもりで仕上げていく訳ではない。ドライバーに少しでも楽をさせてやりたい。元々トラックが好きで入社したドライバー。手積み・手降ろしのきつい仕事でも、気に入った車に乗れるなら厭わない。ドライバーの要望を聞いて造るから、当然気に入るし大事に乗る。**結果、車はいつもキレイで事故も無い。**★「会社の儲けは多くは要らない。自分もトラックが好きで始めた。いいドライバーがいれば会社はなんとかなる。」と社長。

年間通じて安定した仕事を増やしたい

◆厳しい時代になった。メインのエクステリアは春がピーク。自動車部品も為替変動等により波がある。季節変動の少ない輸送品”のウェイトを上げることが急務の課題。◆当社のメインである石材関係は中国を主に100%が輸入。積荷は港が拠点となっている。◆「この辺をヒトに今後は、幾つかのハードルはあるが新分野の輸送を切り開いていきたい」と横堀社長。意欲的です。

社名の“拓友”について

◆息子さんの名前が拓也さん。この息子さんに友達が沢山できて、大きく広がっていくように、と会社名にしたとのこと。その息子さんも今、会社に入りバリバリと仕事をしています。父の意思を引き継いで”人の輪を広げ”、会社を大きくしていってください。



有限会社倉持商事 様

◆会社の活動エリアから春日部に本拠を構え輸送効率を上げている。道路舗装用アスファルト輸送という特化した品目の為、他には無い苦労があるとのこと。4年前に創業者のお兄さんが亡くなり現社長が引き継いだ。普段は春日部においでだが時間を作って戴きました。



㈱倉持商事
(倉持 司 社長)
前橋市東善町(前橋(営))
東亜道路の整備部として群馬・栃木・埼玉エリアでアスファルト乳剤の輸送・散布を行う。

“アスファルト乳剤”とは

◆アスファルトというすぐに道路の舗装面に敷かれた固形のを想起するが、実は原油を分留・精製する過程でガソリン、灯油、軽油、中油、重油、タールと分かれ、最後に残った(凝結点が高い)C重油の一部をアスファルトと呼ぶ。乳化剤を加えてこの重い油50%に水を同量混ぜたもの(アスファルト乳剤)を倉持商事さんは運び、散布作業を行っている。◆ちなみに整地した路面に撒かれたアスファルト乳剤は水分が蒸発すると黒色になりアスファルト分だけが残る。表層と基層間に撒かれるものをタックコート、合材と路盤間に撒かれるものをプライムコート、継ぎ目に流し込まれるものをシーコートと呼ぶそうです。(勉強になりました)

出は群馬ではありません、と倉持社長

◆倉持社長は高知・土佐のご出身。ご実家は日本酒等酒ビンの栓を製造、それを手伝っていたが、ある時父親がケガで入院したことから家計を助けようと創業者であるお兄さんが大阪に出て舗装関係の運送業を始めた。その後東亜道路工業(株)で営業をしていた玉田氏(後に東亜道路社長)から「群馬の伊勢崎市に東亜道路の工場を作るからそこで事業をしないか」と誘われ、昭和48年に現在の㈱倉持商事を構えた。そのあとを継いだ弟さんの現倉持社長は先代社長と同様、”人との縁”を大事にされています。

会社のことを伺いました

◆道路舗装アスファルトは競合の少ない業界。大手では東亜道路とニチレキの2社が主力。特に東亜道路は製品開発力が強い。従来のアスファルトで問題だったのが輸送車両やタイヤへの付着。或いは施工時、強風等による他建築物などへの付着。これを改善させたのが「タックファイン」という製品。アスファルト乳剤が分解した後、タックコート本来の層間接着力を保持しつつ、施工車両のタイヤ等への付着(ベタツキ)を大幅に低減させることを可能にした。この開発で東亜道路は他より一歩前に出た。◆また業界は東日本大震災の復興事業により道路の補修・新設等、これから忙しくなることが予測される。★「事故無く乗り切りたい」と倉持社長。

倉持さん使用と同型のアスファルト散布車



お知らせ

♪総務企画委員会

H25年1月29日(火)、ロイヤルチェスター前橋にてPM17:00～新春セミナー、18:00～新年互礼会を開催します。セミナー講師には日銀前橋支店・相良支店長から今後の金融動向などをテーマにお話戴く予定です。セミナー、互礼会ともに大勢の支部会員様のご参加をお願いします。

♪事故防止委員会

①冬の県民交通安全運動が12/1(土)群馬県歯科総合衛生センター前、12/6(木)富田町建設事業協同組合前にて行われます。年末の交通安全を皆で呼びかけましょう！
②12/10(月)9:00～「安全点検ハートロール」を運輸支局・県ト協の協力により実施予定。支部会員14社を巡回訪問の予定です。**準備と段取りで余裕を持ちましょう！**

◆群馬県警より12月の危険日

①12/17(月)・18(火)・19(水)の1回です。▶スピード・車間、夜間、交差点では特に注意を、また歩行者・高齢者にしましょう！★中央道笹子トンネル事故の教訓より、高速では特に車間距離を十分に取ろう！